

阿波農村舞台の保存・活用を通じた阿波人形浄瑠璃の振興

ユネスコ・アジア文化センター
 「第2回コミュニティにおける無形文化遺産の活性化の優良事例コンテスト」ACCU賞受賞
 The 2nd Contest for Better Practices in Communities' ICH Revitalization
 ACCU Prize
 Promotion of Awa Ningyo-Joruri through Preservation and Utilization of Nousonbutai Stages Japan
 Asia/ Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU)



犬飼農村舞台でのACCU賞授賞式

楡瑛司氏といっしょに県内の民俗芸能をくまなく調査され、「徳島県民俗芸能誌」「徳島神踊り歌集をかぶいたりや阿波」の編者を務められた皆川学氏の勧めもあって、標記のコンテストに応募したが、残念ながら第1回は選考に漏れた。翌年、ユネスコ・アジア文化センターの担当者から、農村舞台というハードウェアの保存活用を通じた伝統芸能の振興という取り組みは非常にユニークなものであり、世界の無形文化遺産の活性化の取り組みの参考になるものである。第1回の国際審査会でも注目されていたので、再度応募してほしいとの連絡があったことから、前回の申請書を時点修正し応募し、ACCU賞を受賞することとなった。さらにうれしいことに、阿波農村舞台の会の会員でもある阿波木偶箱廻しを復活する会といっしょに、徳島県から2団体が同時にACCU賞に決定したとのこと

であった。阿波木偶箱廻しを復活する会は、三番叟まわしという徳島ならではの芸能を、門付けを受け入れる文化とともに継承していることを高く評価されたものである。

日本は、伝統芸能の保存においては先進地域のひとつだそうであるが、アジア、太平洋地域という広い対象エリアのコンテストで、徳島県から同時に2つの団体が選ばれたことは希有なことである。折しも平成21年度には阿波人形浄瑠璃月間〜ジョールリ100公演というイベントが計画されていたこともあり、授賞式と記念公演を徳島県で開催する運びとなった。ジョールリ100公演の終わった平成21年11月15日、ユネスコの文化財保護関係者や各国の受賞団体が、犬飼農村舞台に集まり授賞式と記念公演を開催した。飯泉知事にもご出席いただき、ジョールリ100公演の成果を次につなげる催しとなった。



寿二人三番叟/青年座・丹生谷清流座



元ユネスコ文化遺産課長 リークス・スミーツ氏



ユネスコ・アジア文化センター ワークショップ

- ACCU賞受賞者
- 阿波人形浄瑠璃 日本・徳島県(阿波農村舞台の会)
 - 三番叟まわし(正月の祝福芸) 日本・徳島県(阿波木偶箱廻しを復活する会)
 - ワルパダンス プルキナ
 - カッタ・アシユラ(伝統音楽) ウズベキスタン
 - オヤー寺院の伝統芸能 キューバ
 - 長浜曳山祭の囃子 日本・滋賀県
- 佳作
- バルティスターンの古典舞踊、剣の舞い、伴奏音楽 パキスタン

人形浄瑠璃街道—阿波の人形文化

西宮神社の「えびすかき」を発祥とし、淡路の人形座が全国に広めた人形浄瑠璃。徳島では、農山村の生活の中に根ざし、信仰心と結びついて全県的に広がった。西宮、淡路、阿波を結ぶルートは、日本の人形芝居の背骨をなす地域であり、まさに人形浄瑠璃街道と呼ぶにふさわしい。

徳島では、地神さんと呼ばれる田の神に三番叟を奉納して、今年の収穫を感謝し来年の豊作を願う。漁師町では大漁を祈願して「恵比寿」の人形を廻す。恵比寿信仰は全国津々浦々まで伝わり、徳島では那賀町の山の中でも、恵比寿が鯛を釣って家内安全や富貴繁盛を願う。また、一年の家族の幸せを運んでくる箱廻し芸人による門付けを、毎年心待ちにしている家が、今でも何百軒とある。



拝宮の地神さん(2010.11.3)



百太夫神社(西宮市)



百太夫神社のいわれ



三原高校(南あわじ市)の恵比寿舞



拝宮の恵比寿



坂州の恵比寿